

所属	専門職大学院	職名	准教授	氏名	宮島 清	大学院の授業担当の有無	(有・無)
授業科目							
社会福祉学部	子どものケースマネジメント						
専門職大学院	専門演習、専門演習、実践と省察、実践課題研究、事例研究4(子ども家庭支援分野事例1)、事例研究5(子ども家庭支援分野事例2)、個別スーパービジョン、個別スーパービジョン、グループスーパービジョン、子ども家庭福祉の理論と方法、子ども家庭福祉の制度と動向、子どもの発達と心理・保育子育て支援、児童虐待対応ソーシャルワーク、社会的養護実践論						
大学院博士前期							
大学院博士後期							
通信教育科	社会福祉主事課程特別講義(7月29日)、市町村要保護児童対策地域協議会調整機関職員モデル研修(2月25日)						
教育活動							
教育実践上の主な業績		年月日	概 要				
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 専門職大学院の講義		2016.4.1 ~2017.3.31	専門職の講義専門職の講義にあたっては、相互のやりとりを行うように努めるとともに、グループディスカッション、事例研究、ロールプレイ等の方法を用いて、実践的な内容となるように努めた。また、当該年度に児童福祉法の大幅な改正があったため、これを踏まえた最新の動向や実践上の変化を多く盛り込むように努めた。				
社会福祉学部での講義		2016.11.1 ~2017.3.31	社会福祉学部で当該科目を担当することははじめてだった。2コマ連続授業のうち1コマ目では、第2学年時の必修科目で学んだ内容を確認し、理解を深め、学生の中に定着するように努めた。続く2コマ目で対話形式で事例検討を行い、理論や知識を実践につなげる力を獲得できるように努めた。				
通信教育科での特別講義		2019.7.29	通信教育科社会福祉主事課程の特別講義を担当した。同課程は、子ども家庭福祉領域の受講生は多くはないので、そのことも考慮した上で、理解しやすく、且つ、ソーシャルワークの価値や方法を実践に適用する力を獲得することに寄与できる内容となるように努めた。				
通信教育科でのモデル研修での講義		2017.2.25	児童福祉法の改正を受けて2017年度から、研修が義務化される市町村職員モデル研修の一部を担当した。日頃専門職大学院の在學生とともに学び実践の現場で遭遇する今日的な課題を取上げ、受講者のニーズに沿う内容とするように努めた。				
2 作成した教科書、教材、参考書 全社協社会福祉学双書2017「児童家庭福祉論」、ミネルヴァ書房新プリマーズ「社会的養護第7版」、実教出版「高等学校社会福祉科教科書「社会福祉基礎」、中央法規出版「ひと目でわかる基本保育データブック2017」		2016年10 ~2017年3月	法令や統計などの更新、一部内容の更新等				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等							
4 その他教育活動上特記すべき事項 実践現場で行われる事例検討会へのゼミ生の同行・参加		2016.4.1 ~2017.3.31	事例検討会でスーパーバイザーを務める依頼があった場合は、受諾の条件として、院生の同行を認めていただくこととしている。この結果、清瀬市・所沢市等でもたれる複数の事例検討会では、概ね毎回専門職の院生1~3名が参加している。				
拡大ゼミとしての更正施設への見学会		2016.11.29、 同12.6 、2017.1.31	専門職大学院のゼミ生と共に、j通常の授業日とは別に、関東医療少年院、府中刑務所、愛光女子学院への見学会を企画・実施し、参加者と共に討議した。				
リカレント講座「里親ソーシャルワークを学ぶ」の開催		2016.10.10	通常の授業の他に、午前ゲストスピーカーによる講義、午後は自身が進行役を務めるシンポジウムを開催した。当該年度は、家庭養護促進協会の米澤普子氏に講演をして頂き、午後のテーマは当事者と考えられる里親制度・社会的養護とした。社会福祉学部の卒業生で児童養護施設に勤務する元当事者、里親であり且つ保健師である方等をお迎えした。全国から50名の実践者等が参加した。				
専門職大学院福祉実践フォーラム他		2016.12.23 他	全国社会福祉協議会瀬尾ホールで開催したフォーラムの担当を務めるとともに、これに先立つワークショップ(子ども家庭福祉分野11月19日文京校舎)や1月21日専門職大学院入試広報模擬授業(清瀬校舎)を担当した。				
研究活動							
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数		
<著書・編著書>							
特集子どもの貧困「児童養護施設を退所した子どもたちへの支援」	単著	2016年6月	後藤・安田記念東京都市研究所「都市問題」VOL107		pp46-51		

特集児童養護施設と地域福祉「地域と育てる」	単著	2016年7月	全国児童養護施設協議会季刊「児童養護」2016 Vol.47 No.1		pp5-6
論壇「児童福祉の理念の見直しについて」	単著	2016年9月	全国児童養護施設協議会季刊「児童養護」2016 Vol.47 No.2		pp2-3
「日本における里親制度の現状と課題とは宮島清×樽沼あづさ×古泉智浩×荻上チキ」	共著	2016年10月	電子SYNODOSマガジン	畠山美香	
講演録「子ども、実親、里親養育を支援するソーシャルワーク」	単著	2016年12月	家庭養護促進協会神戸事務所		
「地域で育てる」を里親とともに担う	単著	2016年12月	全国児童養護施設協議会季刊「児童養護」2016 Vol.47 No.3		pp6-7
子どもメディア館「浅井春夫著『沖縄戦と子どもたち』」	単著	2016年12月	全国児童養護施設協議会季刊「児童養護」2016 Vol.47 No.3		pp48
講義「多機関コーディネートのあり方」	単著	2016年12月	子どもの虹情報研修センター紀要 No.14(2016)		pp30-48
「児童虐待防止 支えるしくみづくりは」(視点・論点)	単著	2017年1月	NHK解説委員室HP		
< 研究論文・研究ノート >					
< 調査・研究報告書 >					
子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第12次報告)	共著	2016年9月	厚生労働省児童虐待防止対策室	社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会	
東京都児童福祉審議会提言「家庭的養護の推進について」家庭と同様の環境における養育の更なる推進に向けて	共著	2016年11月	福祉保健局少子社会対策部育成支援課	東京都児童福祉審議会	
市区町村における児童家庭相談における人材育成モデルについての研究(第2報)ケースカンファレンスの質的向上を目指した研修の教材の開発について	共著	2017年3月	子どもの虹研修情報センター	子どもの虹研修情報センター	
厚労省委託平成28年度先駆的ケア策定・検証調査事業「児童養護施設等の小規模化における現状・取組の調査・検討報告書」	共著	2017年3月	みずほ情報総研株式会社	みずほ情報総研株式会社	
厚労省委託「ひとり親家庭及び児童養護施設等における生活状況並びにひとり親家庭の支援施策の自立の効果等に関する調査研究事業」報告書	共著	2017年3月	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社政策研究事業本部	
WAM女性事業「子どもの家庭養護推進のための福祉現場ネットワークづくり」事業報告書	共著	2017年3月	日本国際社会事業団	日本国際社会事業団	
< 翻訳 >					
< その他の執筆活動 >					
学会等および社会における主な活動					
< 学会報告 >					
< 講演活動 >					
子どもの虹研修情報センター	「市町村での支援におけるコーディネートのあり方」平成28年度地域虐待対応企画者養成研修2016年6月2日(木)、「児童相談所のソーシャルワーク」平成28年度児童相談所児童福祉司指導者基礎研修2016年6月21日(火)、「死亡事例に学ぶ」児童相談所児童福祉司SV研修2016年7月6日(水)、「死亡事例の背景にある家族の課題」テーマ別研修家族への支援・ステップファミリー2017年3月8日(水)				
日本社会福祉士会	「子ども家庭(福祉)支援における(地域)包括支援とは」日本社会福祉士会主催2016年度子ども家庭支援SW研修 2017年1月28日10:15~正午(東京都千代田区連合会館)				
全国児童養護施設協議会	「地域において施設が果たすべき子育て支援と関係機関との連携」全国児童養護施設長 研究協議会分科会 2017年11月16日東京都京王プラザホテル				
東京都	「要保護児童対策地域協議会調整機関の役割を事例検討を通じて考える」東京都子家センター虐待対策コーディネーター研修2016年10月28日(金)13時00分~16時30分				

群馬県	「通告・調査・援助の実際について 児童虐待対応の留意点 事例から学ぶ 限られた情報に基づき仮説を立て対応する」群馬県児童福祉司任用資格認定等研修平成28年7月22日 県立産業技術センター
新潟県	「地域で子どもと家族を支援する 社会的養護、虐待対応、子育て支援の境目はどこにあるのか」2016年11月22日(火)新潟県児童虐待防止研修会
長崎県	「子どもの家庭支援ソーシャルワークの基盤 - 要支援・要保護事例を中心に、実際に子どもと家族に関わる人のために - 」他2コマ2017年1月11日(水)長崎県児童福祉司任用資格認定研修 佐世保市民会館
熊本県	「要保護・要支援児童への支援 市町村の役割について考える」熊本県市町村児童福祉主管科長会研修会2016年11月8日
岐阜県	「里親家庭に子どもを迎えるということ 里親制度の基礎から、被措置児童虐待の防止まで」岐阜県里親研修会2017年2月26日
横浜市	「児童虐待の防止に向けた 地域での支援と機関連携」横浜市児童虐待対応専門研修平成28年7月12日(火)、「市区町村の児童虐待対応にけるコーディネートの在り方と実際」横浜市保健福祉機関職員研修2016年9月20日(火)、「児童虐待と被措置児童虐待 悲しみを重ねないために」横浜市里親現任研修2016年9月20日(火)、「演習 市区町村の児童虐待対応にけるコーディネートの在り方と実際」横浜市保健福祉機関職員研修2016年12月12日(月)
横須賀市	「児童虐待と被措置児童虐待 悲しみを重ねないために」横須賀市里親更新研修2016年12月10日(土)
秋田市	「児童虐待・地域でどう支援するか ネグレクト事例を中心に」秋田市子どもを守る地域ネットワーク研修会2016年8月30日(火)
八王子市	「家族と一緒に暮らせない子どもたち 里親という繋がり」2016年10月13日(木)八王子市クリエイティブホール
国立市	「演習 保育所や幼稚園で出会う事例について考える」国立市保育幼稚園研修2016年12月9日
文京区	「関係機関との連携について 児童虐待をどうキャッチするか」文京区要保護児童対策地域協議会 実務者会議研修会2017年2月28日15:00～17:00(文京シビックセンター)
上尾市(埼玉県)	「要保護・要支援児童への支援 市町村の役割について考える」上尾市子ども支援ネットワーク2016年10月12日(水)
山形村(長野県)	「児童虐待・初期対応に必要なこと」長野県山形村要保護児童対策地域協議会2016年10月25日(火)
サレジオ学園	「子ども、実親、里親養育を支援する ソーシャルワーク」東京サレジオ学園職員研修会2016年9月16日(金)
調布学園	「社会的養護の課題と将来像、里親委託、自立支援や家庭復帰後の支援、ソーシャルワークとケアワーク等について」2016年9月21日調布学園職員研修
聖オデリアホーム	「児童相談所について」2016年11月30日聖オデリアホーム乳児院職員研修会
国立武蔵野学院	「里親制度と里親ソーシャルワーク 子どもの利益を第一とする支援体制をどうつくるか」平成28年度児童相談所職員等研修「里親対応関係機関職員研修」平成29年1月12日 国立武蔵野学院研修棟
東京都新任民生児童委員研修会	「知っておきたい子どものための社会福祉 児童福祉の理念、現状、支援の視点」2016年度東京都改選期新任民生児童委員研修会2017年2月14日11時20分～12時30分
あんしん母と子の産婦人科連絡協議会	「新生児里親委託や養子縁組あっせんに関わる他県での取組や法の成立等について」シンポジウム 埼玉県民健康センター2017年1月30日
< 所属学会 >	
日本社会福祉学会	「社会福祉学」査読委員
日本子ども家庭福祉学会	
日本子どもの虐待防止学会	代議員
日本キリスト教社会福祉学会	
< 社会的活動 >	
厚生省社会保障審議会児童部会委員	
同上 児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会委員	
同上 児童部会社会的養護専門委員会委員	
同上 児童部会国立児童自立支援施設処遇支援専門委員会委員	
東京都児童福祉審議会臨時委員	本委員会、専門部会 任期:平成27年8月18日～同28年12月9日まで
NPO法人子ども家族いきいきプロジェクトあっとほーむ代表	専門職大学院卒業生が主なメンバー。当面は、メンバーの交流が主な活動だが、研究と広報及び子どもと家族へのSW実践が本来の目的。大学のリカレント講座「里親ソーシャルワークを学ぶ」を共催で実施。児童福祉施設の入所している児童との交流も行う。

(福)子どもの虐待防止センター評議員	教育広報部会メンバー 平成28年度末まで
あんしん母と子の産婦人科連絡協議会第3者委員	福祉専門職の立場からコンサルテーションを行う
児童養護施設共生会希望の家SV	年3回 個別事例検討会のSV
清瀬市子ども家庭支援センター事例検討会SV	年5回 個別事例検討会のSV
所沢市教育相談センター事例検討会SV	年2回 個別事例検討会のSV
所沢市保健センター母子保健課事例検討会SV	年3回 個別事例検討会のSV
長野県児童相談所事例検討会	県内の各児童相談所と市町村職員が参加し、合同で事例検討会を開催する年4回のうちの2回において助言者を務める。内2回は、ゼミの卒業生の宇梶氏が助言者を務める。
その他の事例検討会のSV	水戸市(9月30日、1月18日)、児童養護施設若草寮(7月15日)、横浜市南区(7月7日、1月17日)、北区教育委員会(10月7日)、埼玉県高等学校SSW(6月24日、11月18日)
東京都多摩児童相談所里親委託推進委員会委員	年2回 児童相談所を事務局として、里親、市町村、児童福祉施設の里親支援ワーカーが集い協議する。
全国児童養護施設協議会「季刊児童養護」編集委員	年4冊発行
子どもの虹情報研修センター課題研究者、子どもの虹研究小委員会のアドバイザー	横浜市との共同研究、市各区の児童虐待対応担当職員の対応力向上に関する研究 研修モデルと教材の開発 平成28年度末まで(3年継続の第3期)、子どもの虹研修情報センターが行う研究について、年数回出席し助言等を行う。
NHKテレビに出演し、解説、コメント、提言を行った。	4月6日「あさいチ」に出演し、児童相談所と児童虐待と一時保護等の対応について解説した。11月21日の「クローズアップ現代+」に出演し、妊娠相談や養子縁組あっせんの現状や課題、立法による規制や新しい支援モデル、これらにおける留意点などについて解説した。1月24日「視点・論点」に出演し、児童虐待に対応する市町村や児童相談所の体制の整備や仕組みづくりについて、児童福祉法の改正と国で進められている検討を踏まえ解説し提言した。3月28日の首都圏ニュースにVTR出演し、要保護児童を支援する場合の情報共有やネットワークづくりについてコメントした。
TBSラジオ「荻上チキのセッション22」への出演	4月8日の特集「日本における里親制度の現状と課題とは」において、メインゲストとして、約1時間にわたり、他のゲストとともにトーク形式でやりとりをすることを通じて解説した。
朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、中日新聞、共同通信等の記事におけるコメントや提言	児童虐待事例についての所見。これへの対応の在り方や体制についての所見・意見。養子縁組あっせんの方法や法整備の必要などについてのコメントが掲載された。